

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道380号 <small>てらむら</small> 寺村バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県上浮穴郡小田町吉野川 至：愛媛県上浮穴郡小田町日野川			延長	4.9 km
<p>事業概要：一般国道380号は、愛媛県八幡浜市を起点として国道197号、国道56号、国道379号を重用し久万町で国道33号に至る、延長約2.2 kmの幹線道路である。</p> <p>寺村バイパスは、小・中・高等学校などが集中する小田町中心部の幅員狭小、線形不良区間の解消を図り、交通安全の確保や地域活性化を図るとともに、松山地方圏域中心部へのアクセス性向上により、生活の安定や産業・観光の振興・発展が期待される。</p>					
S63年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		S63年度用地着手	
				H1年度工事着手	
全体事業費	69億円	事業進捗率	76%	供用済延長	2.4 km
計画交通量	4,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2	総費用：(残事業)/ 事業全体 16/97億円		総便益：(残事業)/ 事業全体 30/120億円	
	(残事業) 1.9	事業費：15/92億円 維持管理費：1/5億円		走行時間短縮便益：29/113億円 走行費用減少便益：1/6億円 交通事故減少便益：0/1億円	
<p>事業の効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等に当該路線の利便性の向上期待できるバス路線が存在する） 物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上） <p style="text-align: right;">他 3項目に該当</p>					
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>国道379号・380号改良促進期成同盟会（伊予・上浮穴・喜多郡の4市1町）による事業促進の強い要望があるほか、地元も事業実施に協力的である。</p>					
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>延長4.9 kmに及ぶ大規模事業であるため、一部で用地交渉が難航し事業進捗に遅れを生じたが、その後は順調に進んでおり早期完成に向け、全力で取り組むことにしている。</p>					
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>事業の進捗率は75.7%（事業費換算）である。平成10年度までに小田町中心部の2.4 kmを供用している。</p>					
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>多数の地権者の協力と理解が必要であり、その調整に時間を要したが、現在は順調に進捗し、平成18年度に全線供用を図る予定である。</p>					
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>コスト縮減を図るため、擁壁・水路タイプの見直しを行った。</p>					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<p>事業概要図</p> <p>The map shows the bypass route (寺村バイパス) of length 4.9 km connecting Nishiyama (吉野川) and Hinokawa (日野川). A section of 2.4 km (供用済(2/2)) is already in use. The map also shows the existing route (国道380号) and surrounding areas like Uchiyama (内子町) and Hisakawa (久万町). A legend indicates: 供用中 (In use), 再評価箇所 (Re-evaluation area), and うち供用中 (Of which in use).</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。